

今月の表紙・人口・主な連絡先	P2
特集 住みたい田舎ベストランキング1位受賞	P3
特集 「それ、鳥取市だよ」スタート	P4-5
特集 滞納ゼロを目指して	P6-7
特集 「家庭の日」作文コンクール最優秀作品	P8
特集 鳥取マラソン2020開催に伴う交通規制	P9
まちかどアルバム	P10-11
健康・病院	P12-13
ピックアップインフォメーション	P14-17
情報ひろば	P18-28
無料相談	P29
各施設催し物のご案内	P30-31
3月のカレンダー、読者プレゼント	P32

鳥取市役所

☎ 0857-22-8111(代)  
 ☎ 0857-20-3040  
 〒680-8571 (郵便物は郵便番号と課名のみで届きます)  
 本庁舎 幸町71番地  
 さざんか会館 富安二丁目104番地2  
 下水道庁舎 秋里903番地

各総合支所

国府 ☎ 0857-39-0555 ☎ 0857-27-3064  
 福部 ☎ 0857-75-2811 ☎ 0857-74-3714  
 河原 ☎ 0858-76-3111 ☎ 0858-85-0672  
 用瀬 ☎ 0858-87-2111 ☎ 0858-87-2270  
 佐治 ☎ 0858-88-0211 ☎ 0858-89-1552  
 気高 ☎ 0857-82-0011 ☎ 0857-82-1067  
 鹿野 ☎ 0857-84-2011 ☎ 0857-84-2598  
 青谷 ☎ 0857-85-0011 ☎ 0857-85-1049

鳥取市公式ホームページ

🌐 <https://www.city.tottori.lg.jp/>

携帯電話対応ホームページ

🌐 <https://www.city.tottori.lg.jp/mobile/>

電子メール

✉ [kouhou@city.tottori.lg.jp](mailto:kouhou@city.tottori.lg.jp)

お持ち帰り用の市報を、地区公民館などに設置しています。どうぞご利用ください。

編集・発行

鳥取市企画推進部秘書課広報室  
 ☎ 0857-30-8008 ☎ 0857-20-3040  
 発行/令和2年3月1日  
 印刷/日ノ丸印刷株式会社

今月の表紙

一足早く梅開花



榑谷公園内にある梅の名所「梅鯉庵」では、1月23日に梅の花が開花しました。暖冬の影響か、平年より18日早い開花とのことで、この日も暖かな日差しの中で、春の訪れを感じさせる可憐な姿を見せていました。

梅鯉庵には「白梅」や「紅梅」、「しだれ梅」といった品種およそ60本が植えられています。梅の花の見頃は3月上旬ごろまでということなので、ぜひ一度足を運んでみてください。

PUBLIC INFORMATION

鳥取市の人口

男 : 90,101人 [- 22]  
 女 : 96,824人 [- 14]  
 合計 : 186,925人 [- 36]  
 世帯数 : 80,381 [+ 14]

令和2年2月1日現在 [ ] 内は前月比

防災行政無線の内容は電話で確認できます

放送内容の確認をしたいときは、下記番号へお電話ください。

※本庁舎から一斉放送したものに限りません。

☎ 0857-21-6100

鳥取市コールセンター

☎ 0857-22-8111

(市代表番号と同じ)

☎ 0857-32-2170 ✉ [tori-call@city.tottori.lg.jp](mailto:tori-call@city.tottori.lg.jp)

年中無休

(開庁日) 午前8時~午後7時  
 (閉庁日) 午前9時~午後5時  
 (外国語の問い合わせ) 午前9時~午後5時

宝島社「田舎暮らしの本」2月号「2020年版 住みたい田舎ベストランキング」

子育て世代が住みたい田舎部門で

1位を受賞しました!

若者世代が住みたい  
 田舎部門  
 第2位

8年連続TOP10入り  
 総合部門  
 第2位

☎ 鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口 (本庁舎地域振興課内)  
 ☎ 0120-567-464 (フリーダイヤル) ☎ 0857-20-3919

住みたい田舎  
 ベストランキングとは?

株式会社宝島社が発行する月刊誌「田舎暮らしの本」で、毎年、全国の市町村からのアンケート結果を数値化し、ランキング形式で「住みたい田舎」を発表しています。

移住定住の推進に積極的な市町村を対象に、移住支援策、自然の豊かさ、医療、子育て、就労支援、移住者数などを含む230項目のアンケートを実施し、629市町村(うち、「大きなまち」は90市町村)から回答がありました。

本市は、人口10万人以上の「大きなまち」グループの、全世代対象の「総合部門」、子育てファミリーにおすすめの「子育て世代部門」、若い単身者におすすめの「若者世代部門」、第二の人生に適した「シニア世代部門」の4部門で、それぞれ次のとおりランク付けされました。

※「田舎暮らしの本」は日本で唯一の田舎暮らしを紹介する月刊誌です。市役所本庁舎、市立図書館、移住・交流情報ガーデンなどに配架していますのでご覧ください。

本市の今回のランキング状況

- 大きなまちグループ
- 総合部門 第2位
- 子育て世代が住みたい田舎部門 第1位
- 若者世代が住みたい田舎部門 第2位
- シニア世代が住みたい田舎部門 第14位

総合部門は8年連続  
 トップ10入り!!



本市が評価されたポイント

本市は、自然を最大限に生かした保育を行っている園があり、子どもの自主性を伸ばす保育環境が整っていること、民生児童委員や地域ボランティアが協力した子育て支援に力を入れており、子育てのネットワークや地域単位での支援が充実していること、また、本市独自の措置として、0歳から2歳の保育料を負担する家庭で、同時在園の場合の第2子の保育料について、通常2分の1のところを5分の1に軽減していることなどが評価されたものと考えています。